

2020年03月26日

## 三井製糖が大日本明治製糖と経営統合に向けた協議開始—格付にプラス

三井製糖（証券コード：2109、発行体格付＝BBB+）は25日、三菱商事の100%子会社である大日本明治製糖との経営統合、および日本甜菜製糖との資本業務提携に関し協議を開始すると発表した。2020年9月末に経営統合に係る最終契約を締結し、経営統合の効力発生は2021年4月を見込む。株式交換により大日本明治製糖を完全子会社とした後、持株会社へと移行する。経営統合後には、日本甜菜製糖の総議決権の約10%にあたる株式を取得する方向で検討を進めることも発表している。

三井製糖は三井物産の持分法適用会社。国内トップシェアを占めるなど強固な営業基盤を構築している。糖価調整制度を背景に競争環境は安定しており、R&Iは三井製糖の収益基盤の安定性の高さをこれまでも評価に反映してきた。本経営統合によりサプライチェーンや業務管理の効率化、研究開発や成長分野へのポートフォリオ配分の強化などを進めていく方針だ。

砂糖の需要量は縮減傾向が継続する可能性が高いなか、今回の一連の施策は業界地位の向上につながる。詳細は未定だが、株式交換による経営統合のため日本甜菜製糖の株式取得を考慮しても、統合会社は良好な財務基盤を維持していける見込みだ。需給ギャップの縮小などで着実に統合効果を上げていけるようだと、三井製糖の格付にプラスとなる。今後の進捗を精査し、格付に反映させていく。

主任格付アナリスト：寺田 聡志

■お問合せ先 : マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail. infodept@r-i.co.jp

■報道関係のお問合せ先 : 経営企画室(広報担当) TEL. 03-6273-7273

株式会社格付投資情報センター 〒101-0054東京都千代田区神田錦町三丁目22番地テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が負う金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性（信用力）に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っておらず、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付（変更・取り下げ等を含む）に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html> をご覧ください。